

挑む[Ⓓ]

成年女子

アーチェリー



初優勝も視野

世界3位の 深沢が中心

個人戦と3人一組の団体戦で行うアーチェリー成年

女子は、国体常連の強豪に仕上がりがつある。中心選手の深沢菜見(安中総合学園高職)は、今月イタリアで開かれたワールドアー

チェリー世界選手権リカーブ女子で3位入賞し、同種目初の日本人メダリストとなった。初の世界戦で当初目標を

予選突破としたが、4位通過で勢いに乗った。大会で最も印象に残ったのは準決勝という。リオ五輪個人銀のリサ・ウンルー(ドイツ)

にポイントをリードして迎えたラスト1射。指がわずかに狂い、1点差の逆転を許してしまった。

「自分自身に負けたのが悔しい。ピンチでも動揺を表に出さず、自信を持ってプレーするトップ選手の精神力は強い。視野が広がった」と総括した。3位決定戦は地元イタリア選手と対戦し、多くのギャラリーの前でプレッシャーをはねのけた。2年後の次回大会で世界の頂点を狙うべく、気持ちは動きだしている。

- ▷監督 林 和弘(市前橋高教)
- ▷選手 深沢 菜見(安中総合学園高職)
吉田奈那子(近大)
遠間あずさ(トヨタカローラ高崎)

フィールドアーチェリー世界3位の腕前で成年女子をけん引する深沢

フィールドは的に高低差や距離表示の有無があり、自然の中の足場確保も競技性に含まれる。国体はターゲットと呼ばれる形式。平坦な土地に的の位置や距離を固定して行う。「世界3位といっても、完全な別種目。気持ちを入れ替えて臨む」と油断はない。

遠間あずさ(トヨタカローラ高崎)は2015年和歌山国体で、深沢とともに準優勝した実力者。吉田奈那子(近大)は昨年に続く出場で若手の成長株だ。念願の初優勝は、手の届く位置にある。

アーチェリー日程 6月8日・福井市スポーツ公園